

みねのぶ

12月号



(営農支援研修会 R7.10.27 峰延農協3階大会議室)

■発行日/令和7年12月1日/No. 1 4 8 4 号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

令和6年度食料自給率を公表 4年連続38%足踏み

農林水産省は、10月10日に令和6年度の食料自給率を公表しました。従来の「カロリーベース」「生産額ベース」の指標に加え、平時における国民の日常生活に必要な摂取熱量のうち、国内で賄われている割合を示す「摂取熱量ベース」が今年から新たに公表されました。

公表内容の全体的な動向は、カロリーベースの自給率は38%で前年度並みで推移し、直近10年の傾向も横ばいの状況が続いています。米は主食用米の消費量増加がプラス要因となりましたが、小麦の単収減少による生産量減少、大豆、野菜、魚介類の生産量も減少したことがマイナス要因となりました。

生産額ベースの自給率は64%に上昇し、国内生産額の増加、特に米、野菜、畜産物の国内価格上昇に伴い前年度比3ポイント増となりました。

新たに公表された摂取熱量ベース食料自給率は46%でした。算出式は「1人1日当たり国内供給熱量(860kcal)」を「平時に必要な摂取熱量(1850kcal)」で割ったもので、日本人の食生活における国内供給の割合をより現実的に示す新たな尺度

としています。

高市首相は、自給率の大幅な引き上げに意欲を見せていて、自民党総裁選で、自給率について「米国もカナダもフランスも100%を超えている。日本もそれに限りなく近づける」と表明しています。

直近10年の食料自給率の動向

年度	カロリーベース(%)	生産額ベース(%)
H27	39	66
28	38	68
29	38	66
30	37	66
R元	38	66
2	37	67
3	38	63
4	38	58
5	38	61
6 (概算)	38	64

令和7年産水稲 (10月25日現在)の 作況単収指数 全国「102」 北海道「98」南空知「101」

農林水産省が11月18日に発表した令和7年産水稲の北海道における10月25日現在の主食用米は、作付面積は9万400ha(前年産に比べ6,700ha増加)と見込まれ、10月25日現在の10a当たり予想収量は549kg(前年対比98)と見込まれることから、49万6,300t(前年産に比べ2万5,900t増加)を見込ま

れると発表しました。全国の作況単収指数は102、予想収量526kg/10aで前年産に比べ7kg増加と見込まれています。

新指標の「作況単収指数」は、生産者が使用しているふり目幅ベースで算出した10a当たり収量の前年産までの5カ年の最高、最低を除く3年平均に対する10a当たり収量の比率です。

作柄表示地帯別作況単収指数及び10a当たり収量は次のとおり

北海道 98 549kg/10a

* 昨年産米の北海道の作況単収指数は101

石狩	100	539kg/10a
南空知	101	548kg/10a
北空知	96	564kg/10a
上川	96	566kg/10a
留萌	96	520kg/10a
後志	100	526kg/10a
渡島檜山	101	491kg/10a
胆振・日高	101	510kg/10a
オホーツク・十勝	102	540kg/10a

管内の生産者が秋播き小麦の 雪腐病防除を実施

11月上旬、管内のドローン組織が組合員から作業委託を受けて、秋播き小麦の雪腐病の防除を実施し

ました。

防除作業は約148畝の小麦畑を回り、農薬用ドローンを使用して殺菌剤を散布しました。

依然までは他地域の散布業者を主体としたヘリ防除を行っておりましたが、管内のドローン組織から散布希望が上がったため、共同防除作業の受委託を行う取り組みが行われています。

青年部員が 農薬用廃プラ受け入れ実施

JAみねのぶ青年部が10月31日、峰樺3区の農産物検査場所、組合員が使用して不要となった農薬用廃プラスチックの受け入れを行いました。この活動は資源の再利用を促進することで環境保全を推進できることから年2回取り組んでおり、今年は6月にも受け入れしました。今回も多くは生産者から使用済みのフレコン袋やハウスのビニールなどが持ち込まれ、総重量は約16tになりました。これらの廃プラスチックは苦小牧市のリサイクル工場で火力発電所の代替燃料が作られ、発電所で再利用されます。

年金友の会が観楓会を開催

10月20日、峰延農協年金友の会（吉田栄会長）が観楓会を開催し、会員34名が参加しました。開催場所は、昨年と同じ美唄市内のピパの湯・ゆーりん館で、日帰りで開催しました。温泉で日頃の疲れを癒した後は、宴席にて料理やカラオケを楽しみ、会員同士の歓談も会話が弾んでいました。道中のバス車内では会員同士で近況や健康づくり等の話題に花を咲かせていました。



廃油回収の実施

10月27日、美唄市小麦集出荷調

製施設前で廃油回収を行いました。午前9時から午後3時まで受け入れを行い、多くの組合員が廃油を持ってきました。廃油回収は年に一度しか行っていないため、集められた廃油は合計で11200リットルにもなりました。

回収された廃油は「再生重油」として再資源化されています。

営農支援研修会を開催

10月27日、農協3階大会議室で、JA北海道中央会廣長職員、JA北海道情報センター濱崎職員・宮森職員、当JA佐藤職員・森職員を講師に「営農支援研修会」を開催し、組合員18名が参加しました。

この研修は第一部「税制優遇の活用について」で農業者年金のしくみと小規模企業共済に関する勉強会を開催し、第二部「クミカン報告票等のオンラインサービスの導入について」、第三部「営農計画書の作成について、低利な農業資金の紹介」という題で農業経営に関する勉強会を開催したものです。

受講者アンケートには、期待に添った内容であるとの声が多く、今後も組合員の必要な知識の提供や経営サポート強化を目的に研修会開催

していきたいと考えておりますので、開催の際は、ご参加いただきますようお願いいたします。



年末年始の自動車事故発生時の連絡先

冬は交通事故が増加する傾向にあります。

12月31日(水)～1月5日(月)は下記へ連絡いただきますよう、お願い申し上げます。

JA共済アプリからなら連絡もスムーズです。
▼今すぐダウンロード



曜日・時間帯	連絡先
月曜から金曜のJA営業時間	JAみねのぶ金融課 0126-67-2113
上記以外 24時間365日受付	自動車事故などJA共済事故受付センター フリーダイヤル 0120-258-931 レッカー移動・故障時の応急対応 JA共済サポートセンター フリーダイヤル 0120-063-931

※救急119、警察110のご連絡もお忘れなく。

(JAみねのぶ 金融課)

職員研修「体力測定会」開催

10月28日、農協3階大会議室にて、北海道農業団体健康保険組合の健康運動指導士・高井職員を講師に迎え、体力測定会を午前と午後の2回に分けて実施しました。

当日は職員39名が参加し、準備運動を行った後、握力・立位体前屈・閉眼片足立ち・全身反応時間の4種目について、5段階評価による測定を行いました。

講師からは、日常生活に取り入れやすい運動や体力向上のためのアドバイスがあり、職員が自身の体力を見つめ直し、楽しみながら健康への意識を高める良い機会となりました。

農協職員資格認定試験に合格

JA北海道中央会が11月21日、令和7年度農協職員資格認定試験の合格者を発表しました。

当JAの合格者は次のとおりです。合格おめでとうございます。

◇初級（2名）

- ・伊藤翔太（営農販売課）
- ・皆川愛佳（金融課）

JA駐車場の夜間・早朝の駐車厳禁

当JAをご利用いただくお客様の駐車場は、本部ビル裏と本部ビル横、JR峰延駅周辺、営農事務所前などにありますが、冬期間はこれらの駐車場の除排雪作業を行っています。

除排雪作業は当JAの委託業者が行っていて、JAの営業時間外に行うため、JAの営業時間終了後から翌日朝8時頃までの時間帯に駐車されますと除排雪作業の支障となりますので、この時間帯の駐車は厳禁といたします。

何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

（総務課）

徳 報
救急と勧業の法

尊徳翁は次のように話された。私が烏山藩で指導した方法は、ただ、緊急の救済ばかりではなく、通常の時の業務の遂行意欲を高めるためにも通用する、良い方法である。この方法を実施する時は、一時の困難か

ら救済するだけでなく、怠惰な者達を自然と仕事に励むようにさせ、思わず知らずに職業を習い覚えさせることとなって、これが習性となって、弱者が強者となり、愚かな者も職業に慣れ、若年者も縄を緋草鞋作りを覚え、その他の者も種々の稼ぎを覚えたことから、遊び癖のある無駄飯食いはいなくなった。こうなるともはや、人々は、遊んでいることを恥じ、無駄飯食いであることも恥じるようになり、それぞれが正業に就くようになるものである。恵んで費えざるという無利息金貸付の方法は、困窮を救う良い方法であるが、烏山藩で指導した方法は、その倍以上の良い方法と言える。

飢饉凶作ではない年でも、復旧、救済の事業に志を持つ者は、深く注意していくことが必要である。特に、世間一般の救済に志を持つ者に言っておくが、みだりに穀物や資金を直接与えることは、非常によくない。なぜならば、それを貰った人々を怠惰にしてみようからである。これでは、恵んで費える、となってしまう。恵んで費えないように、注意して資金や食料を使い、人々に、やる気と学ぶ気持ちを持たせるようにしていくことが、肝要である。

（夜九二）

第9回（10月定例）理事会開催

10月24日開催の定例理事会において決議・協議された事項は次の通りです。

〈決議事項〉

- 1.信用限度を超える資金の貸付について

〈協議事項〉

- 1.令和7年産流通改革米一般うるち米に係る違約金の方針について

第3回監事監査終わる

本年10月末日を基準日とする第3回監事監査が11月20日から25日までの日程で、佐藤代表監事以下3名の監事により執行されました。

本年度の第3四半期における事業推進状況及び会計処理等について精力的に監査を行い、最終日に常勤理事、各課長に対して監査講評が行われました。

おくやみ申し上げます

栗林 みわさん （100歳） 10月23日

岩見沢市岡山町280番地5

北野 信夫さん （74歳） 10月26日

美唄市峰延町本町

黄田 守さん （100歳） 11月9日

美唄市上美唄町南

青年部だより

Vol. 11

美唄市内三農協連絡協議会

道外研修を終えて

JAみねのぶ青年部

大槻 尚也
岸 本久靖

今回、私達は10月27日から30日の3泊4日で、熊本、福岡に視察研修に参加しました。

1日目は、熊本空港に移動し、その後自由行動となった事からサントリ(株)九州熊本工場さんを見学してきました。ザ・プレミアム・モルツの



製造工程や天然水ができるまでに長い年月をかけて地下水を汲んでい
る事や、検査の内の1つの臭いを嗅ぎ
わかる体験や、品質管理の大切さを
教えていただきました。家族連れや
海外からの観光客の方々も来場さ
れていました。

2日目は、熊本すぎかみ農場さん
の視察を行いました。熊本すぎかみ
農場さんは、熊本市南区城南町の杉
上地区、水はけの良い砂質の大地の
上にあり、阿蘇と緑川の豊かな水と
熊本平野の大地の恵みを受けて、農
作業を日々取り組んでおり、組合員
の高齢化や、後継者減少傾向にあり、
地域の農業を守るためには農地を
集積し、計画的な管理が欠かせない
という地域の一致した理念の元、20
14年に発足され、一般的な会社と
同じような就業形態での作業や、ク
ボタK S A Sの導入し、オペレーター
全員が全ての作業に活用し、先進
的農作業を実施しているとのこと
でした。農地利用面積は2000ヘクタ
ール以上もあり、作付け作物は、主
に、水稻、小麦、大豆という土地利用
型作物を中心に、新規導入作物に
玉ねぎ、「すぎたまちゃん」のブラン
ド化や、ドレッシング、ジャポネソ
ース、
熊本では珍しい「葉にんにく」を生

産し、生鮮野菜として出荷する他、
加工食品として「葉ニンニク味噌」へ
商品化等、様々な事を教えていた
きました。

その後、JA熊本経済連
YOU+YOUくまもと農畜産物
市場や、桜の馬場 城彩苑を見学
し、くまもと農畜産物市場では、地
元産の新鮮野菜やお肉等が販売さ
れており、平日にも関わらず、既に
完売している商品も所々あり、多く
のお客さんが来場されていました。
桜の馬場 城彩苑では、日本3名城
の1つに称される熊本城、熊本のシン
ボルである熊本城のふもとにあたる
「桜の馬場」という場所に位置して
おり、天守閣の中や石垣を身近に見
学することや食文化、歴史、伝統を
体験することもでき、家族連れの方
や、海外からの観光客の方がとても
多く来場されていました。

3日目は、株式会社百笑屋さんの
視察を行いました。株式会社百笑
屋は、近隣の畜産農家さん達と協力
して、家畜の糞尿を何度も混ぜ合わ
せ発酵させた自家製堆肥を生産し、
堆肥を投入することで、地力向上や
化学肥料の低減をし、飼料用米の生
産を行い、畜産農家の家畜の飼料と
して供給する事で、地域資源の循環



や、自社で大豆や米を加工し、納豆、
きな粉、もちの販売までを行う6次
産業化の取組、機械作業を含む農
作業全般を性別関係なく、農業に
従事できるようにし、誰でも働きや
すい環境作りの取組、農業イベン
トの開催等を行っていました。

農業イベントでは、「糸島ビアフ
ーム」を開催しており、地域内外か
ら多くの方が参加して、自社農場で
栽培している、枝豆を参加者自ら収
穫し、その場で茹で、糸島産大麦を
使用したビールとともに堪能や田植
えや稲刈り体験イベントも実施して
おり、食育イベントをとうして、家族

連れでの農業体験ができるイベント
を行っていました。

その後、木徳神糧株式会社福岡
工場さんの視察を行いました。木徳
神糧株式会社福岡工場さんでは、
ISO9001、精米HACCP
を取得しており、原料入荷の1階か
ら3階を使用し、玄米精選、精米、
精米精選、検査、計量、梱包、金属探
知、出荷までの、原料受け入れから
製造販売まで、一貫した生産管理や
5S活動を通じて職場環境の整備、
品質マネジメントシステム運用の有
効性と適切性を継続させるために、
定期的な見直しを行い、安全・安心・
高品質なお米の提供。また、国内の
お米だけでなく、国外のお米も取り
扱っており、関税のかかる国外のお
米についても、お聞きすることができ
ました。また、ホクレン福岡支店の方
も同席していただき、九州産地区に
おける、9月25日現在の九州全体
の「作況指数」103と示されてい
るとし、前年の作況99だったこと
から、豊作基調にあり、前年対比
111%と大幅な増産となる見通
しや、各県で品種の多様化や高温耐
性品種の導入が進んでおり、「元氣
つくし」「さがびより」「にこまる」等
の割合が増加傾向と、九州地区の水

稲生産状況等もお聞きするができ、
3日目が終わりました。

4日目は、JA糸島産直市場 伊
都彩々さんでは、地元の新鮮野菜等
が並んでいるところに、北海道産の野
菜もあることに驚き、石蔵酒造 博
多百年蔵さんでは、試飲や様々な受
賞作品を見学し、北海道に戻ってき
ました。

今回の研修に参加させていただき、
多くの事を学ぶことができました。
美咲市内三農協青年部連絡協議会
役員の方々ははじめ、ご支援ご協力
を賜りました皆様方、このような経
験をさせて頂き感謝申し上げます。



JAみねのぶ 年末・年始の営業時間のお知らせ

年月日		業務部門	本部ビル2階		本部ビル1階		峰延給油所
			(総務課・金融課 融資)				
			営業農事務所		金融店舗		
			(農業振興課・営農販売課 販売企画課)				
		営農資材店舗			生活店舗		
		精米所	(金融課 貯金・共済)	ATM (現金自動預払機)			
令和7年12月	26日(金)	9:00~17:00	窓口 9:00~16:00 (為替 9:00~15:00)	9:00~18:00	9:30~18:00	8:00~19:00	
	27日(土)	休業	休業	〃	〃	〃	
	28日(日)	〃	〃	休業	休業	8:00~18:00 *日曜日は18時で閉店	
	29日(月)	9:00~17:00	窓口 9:00~16:00 (為替 9:00~15:00)	9:00~18:00	9:00~18:00	8:00~19:00	
	30日(火)	〃	〃	〃	〃	〃	
	31日(水)	休業	休業	休業	9:30~14:00 *31日は14時で閉店	8:00~13:00 *31日は13時で閉店	
令和8年1月	1日(木・祝)	〃	〃	〃	休業	休業	
	2日(金)	〃	〃	〃	〃	〃	
	3日(土)	〃	〃	〃	〃	〃	
	4日(日)	〃	〃	〃	〃	〃	
	5日(月)	9:00~16:00 *金融課 融資(2階) のみ営業	窓口 9:00~16:00 (為替 9:00~15:00)	9:30~16:00 *5日は16時で閉店	9:30~16:00 *5日は16時で閉店	8:00~13:00 *5日は13時で閉店	
	6日(火)	9:00~17:00 【新年常会 10:00~】	〃	9:00~18:00	9:30~18:00	8:00~19:00	
	7日(水)	9:00~17:00	〃	〃	〃	〃	